

**全体評価**

令和元年度評価

全体として、**中期目標・中期計画の達成に向けて、順調に進んでいる**と認められ、大項目4項目のうち、**全項目について、中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**と評価した。

特に、「**1) 患者にとって最適な医療の提供**」では、救急搬送患者の積極的な受入により、重症以上の照会回数4回以上が、「5年前の8.6%」→「**1.9%**」と大幅な改善が図られ**救急医療体制の充実に大きく貢献したことや新型コロナウイルス感染症対策において、県内の重点医療機関として陽性患者の治療に貢献した**ことは特に評価できる。

一方で、「**3) 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保・育成**」において、2020年2月から、新型コロナウイルス感染症への対応のため、職員への負担が増しているところであり、これまで取り組んできた年次有給休暇の取得などの働き方改革や職員の健康確保対策をはじめとする職場環境の整備など更なる推進をお願いしたい。

また、「**4) 自立した経営**」について、各センターで経費削減、抑制対策や収入増加、確保対策に取り組んでいるが、引き続き、一層の収益確保と費用抑制を進め、経営改善を図る必要がある。

大項目	中項目	取組項目	県評価 R1	
<b>1) 患者にとって最適な医療の提供</b> 中期目標・中期計画の達成に向けて <b>順調に進んでいる</b> 中項目11項目中、 <b>2項目をS、9項目をA</b> としたことを勧案 	1 患者の視点に立った医療サービスの提供	①高度専門医療の提供 ②チーム医療の推進 ③医療の質の標準化・透明化 ④医療の質の評価 ⑤患者及びその家族へのサービスの向上	<b>A</b>	
	地域の医療拠点としての機能の充実			
	①断らない救急医療の充実	①救急患者受入体制の充実強化	<b>S</b>	
	②質の高いがん医療の充実	①がん診療機能の充実 ②緩和ケアの推進	<b>A</b>	
	③周産期医療の充実	①ハイリスク妊婦及び新生児の受入体制の強化	<b>A</b>	
	④小児医療の充実	①小児救急患者の積極的受入 ②発達障害児に対する医療提供体制の充実	<b>A</b>	
	⑤糖尿病医療の充実	①糖尿病専門医による治療の推進	<b>A</b>	
	⑥精神医療の充実	①精神科救急・身体合併症患者に対する医療の充実	<b>A</b>	
	⑦感染症医療の充実	①感染症医療の充実強化	<b>S</b>	
	2			
	3 リハビリテーション機能の充実	①急性期リハビリテーション提供体制の充実 ②回復期リハビリテーション及び退院後のフォローアップのための外来リハビリテーション提供体制の充実、強化	<b>A</b>	
4 医療安全の確保・院内感染の防止	①医療安全対策の徹底 ②院内感染防止対策の徹底	<b>A</b>		
5 西和医療センターのあり方の検討	①王寺駅周辺地区への移転を含めた再整備方針の検討 ②地域密着型医療の提供	<b>A</b>		
<b>2) 地域の医療力向上への貢献</b> 中期目標・中期計画の達成に向けて <b>順調に進んでいる</b> 中項目4項目中、 <b>4項目をA</b> としたことを勧案 	1 地域の医療機関との役割分担と連携強化	①地域の開業医等との連携体制の推進 ②医療機関や福祉施設との連携強化 ③地域包括ケアシステムへの参画	<b>A</b>	
	2 地域の医療機能の向上のための支援	①地域医療従事者の資質向上 ②地域医療を支える看護師の養成	<b>A</b>	
	3 災害医療体制の強化	①災害拠点機能の充実 ②被災時の院内体制の強化	<b>A</b>	
	4 県民への医療・健康情報等の提供	①県民への病院・医療情報等	<b>A</b>	
<b>3) 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保・育成</b> 中期目標・中期計画の達成に向けて <b>順調に進んでいる</b> 中項目3項目中、 <b>3項目をA</b> としたことを勧案 	1 最高レベルの医の心をもった人材の確保・育成	①職員のホスピタリティマインドの実践 ②医療専門職としてのプロフェッショナルリズム教育・研修の強化	<b>A</b>	
	2 最高レベルの医の技をもった人材の確保・育成	①職員のスキル・能力向上に向けた教育・研修体制の強化 ②医療プロフェッショナルの養成 ③職員の臨床研究の支援 ④研修医の教育研修体制の充実 ⑤専攻医の教育研修体制の養成 ⑥看護専門学校における質の高い看護師の養成	<b>A</b>	
	3 働き方改革の推進	①働きやすい職場づくり ②働きがいのある職場づくりの推進 ③職場における健康確保対策の推進	<b>A</b>	
<b>4) 自立した法人経営</b> 中期目標・中期計画の達成に向けて <b>順調に進んでいる</b> 中項目4項目中、 <b>4項目をA</b> としたことを勧案 	1 権限と責任を明確にしたガバナンス体制の確立	①内部統制体制の充実・強化	<b>A</b>	
	持続可能な経営基盤の確立			
	①財務内容の改善	①経営基盤強化対策の着実な実施	<b>A</b>	
2	②収益の確保と費用構造改革の徹底	①経営指標の分析に基づく改善の実施 ②業務の効率化・適正化の推進	<b>A</b>	
3 経営感覚・改革意欲に富んだ人材の確保・育成	①経営情報等の共有と経営参画意識の向上 ②計画的な人材確保と人員配置	<b>A</b>		

# 奈良県立病院機構第2期中期目標・中期計画に関する令和元年度評価結果

## 評価結果

奈良県立病院機構第2期中期目標（R1～R5）で定める実現目標（KPI）133項目の令和元年度の取組状況。

- ・ 年度目標を上回って実施している 51 / 133項目
- ・ 年度目標どおり進捗した項目 18 / 133項目
- ・ 年度目標を下回り、今後の改善が必要な項目 64 / 133項目

大項目		年度目標を上回って実施している	年度目標どおり進捗した項目	年度目標を下回り、今後の改善が必要な項目
1)	患者にとって最適な医療の提供	18	10	19
2)	地域の医療力向上への貢献	14	5	23
3)	最高レベルの医の心と技をもった人材の確保・育成	11	1	11
4)	自立した法人経営	8	2	11
合計		51	18	64

## 注目される主な項目

### 1) 患者にとって最高の医療の提供

#### ①断らない救急医療の充実

目標	R1目標	R1実績
○救急搬送受入率100%達成を目指す【総合・西和】	総合 96% 西和 73%	総合 93.6% 西和 76.5%
・北和・西和地域における重症以上の傷病患者搬送事案において、医療機関の受入の照会を行った回数4回以上の割合の改善(低下)【総合・西和】	3%	1.9%

#### R1の主な取組

- 総合**
- ・ 救急搬送の積極的受入を実施（救急搬送件数6, 170件、救急搬送受入率93.6%）。
  - ・ 北和・西和の照会回数4回以上を3%以下にするため、CPA（心肺機能停止）は3回ルールを制定。（CPA症例100%受入実現）
  - ・ ICUは交替制勤務を6月より実施。
- 西和**
- ・ 救急科医師2名確保。救急ホットラインの運用、外科救急受入のフローチャートを作成するなど、受入体制を強化。

#### 課題と今後の方針

引き続き救急患者受入体制の充実強化に取り組んでいただきたい。西和では、さらなる救急搬送受入率の向上に取り組んでいただきたい。

#### 県評価・コメント

S

救急搬送患者の積極的な受入により、重症以上の照会回数4回以上が、「5年前の8.6%」→「1.9%」と大幅な改善が図られ救急医療体制の充実に大きく貢献した。

### 1) 患者にとって最高の医療の提供

#### ⑦感染症医療の充実

目標	R1目標	R1実績
○感染症患者入院要請応需率100%の維持【総合】	総合 100%	総合100%
・緊急対応を常時想定した体制の強化(定性的な評価)【総合】	体制の強化	感染症患者対応フローチャートの作成

#### R1の主な取組

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策のマニュアルを作成するとともに、県内の重点医療機関として陽性患者の治療に貢献した。
- ・ 感染症患者入院要請応需率100%実現。

#### 課題と今後の方針

- 総合**
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策のマニュアルを作成するとともに、県内の重点医療機関として陽性患者の治療に貢献。
  - ・ 感染症患者入院応需率100%を実現するとともに、感染症患者対応フローチャートを作成することで、緊急対応体制の強化を図った。
- 西和**
- ・ 感染症対策委員会及びICT(感染対策チーム)による定期的かつ集中的な院内ラウンドを実施。

#### 県評価・コメント

S

新型コロナウイルス感染症の再度の感染拡大に備え、重症患者の病床確保や院内感染防止策など万全の備えが必要。



## 課題となる項目

### 3) 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保・育成

#### 3 働き方改革の推進

目標	R1目標	R1実績
○職員調査で「仕事にやりがいを感じている」と回答した割合の向上	全体50%	55.0%
・職員調査で「ワークライフバランスが図れている」と回答した割合の向上	45%	45.8%
・男性の育児休業取得率の向上	1人以上	0人
・年次有給休暇取得日数の増加	総合 6日	総合 8.4日
	西和 7日	西和 7.4日
	リハ10日	リハ 7.3日
・復職支援実習の参加人数の増加	2人	0人
・看護師在職率の維持	離職率 10%	7.62%
・超過勤務の縮減	医師 月25h	医師月30.0h
	看護師 月10h	看護師月11.4h
	その他医療従事者月13h	その他医療従事者月11.5h
	事務 月19h	事務月20.5h
○障害者雇用率の向上	2.50%	2.51%

#### R1の主な取組

- 本部** ワークライフバランス推進中央委員会を開催し（10月）、休暇の取得状況や職場環境の改善等について協議。ニュースレター（11月）で年休取得推進。
- 総合** 出退勤システムによる勤務管理を実施。
- 西和** 院内保育事業の利用対象を有期職員に拡大するとともに、病児保育施設をR2.1に稼働。
- リハ** 時間外勤務の事前命令を徹底するとともに、年休取得状況を定期的に調査。

#### 課題と今後の方針

ワークライフバランス推進中央委員会を開催するとともに、ハラスメント対策ハンドブックの改定及びニュースレターの発行等により、年休取得を促進するなど職場における健康確保対策を推進し、引き続き、さらなる働き方改革の取り組みが望まれる。

#### 県評価・コメント

A

2020年2月から、新型コロナウイルス感染症への対応のため、職員への負担が増しているところであるが、これまで取り組んできた年次有給休暇の取得などの働き方改革や職員の健康確保対策をはじめとする職場環境の整備など更なる推進をお願いしたい。

## 4) 自立した法人経営

### 2 持続可能な経営基盤の確立

#### ①財務内容の改善 ②収益の確保と費用構造改革の徹底

目標	R1目標	R1実績
○経常収支比率の改善(上昇)	93%	93.6%
・繰越欠損金の縮減	142.3億円	145.4億円
医療収支比率の改善(上昇) 【医療収益/医療費用】	総合 90%	総合 92.0%
	西和 100%	西和 96.0%
	リハ 99%	リハ 95.0%
○医療収益に対する材料比率の改善(低下) 【材料費/医療収益】	総合 28.2%	総合 31.1%
	西和 26.3%	西和 25.6%
	リハ 11.5%	リハ 10.4%
・医療収益に対する職員給与比率の改善(低下) 【職員給与費/医療収益】	総合 54.3%	総合 52.1%
	西和 54.2%	西和 59.1%
	リハ 73.9%	リハ 78.4%
・医療収益に対する経費比率の改善(低下) 【経費/医療収益】	総合 19.3%	総合 17.2%
	西和 18.0%	西和 18.7%
	リハ 16.7%	リハ 18.8%
・後発医薬品の使用割合の高水準の維持	総合 96%	総合 94.3%
	西和 95%	西和 95.5%
・地域の医療機関との連携を図りつつ、経営状況に応じて計画的に稼働病床を増加	総合460床	総合 460床

#### R1の主な取組

- 総合** ・5月から総合入院体制加算1を算定し、収益増を図った
- 西和** ・超勤縮減に向け衛生委員会において調査を行い、月80時間超職員が在籍する診療科の部長へのヒアリング等を実施したことにより、80時間超職員は減少。
- リハ** ・先発医薬品から後発医薬品への切替を推進する取組を実施。
- 本部** ・各センターへの業務指導の実施により課題を抽出し、業務の効率化・適正化に向けた改善を支援を実施。

#### 課題と今後の方針

- ・経費削減、抑制対策や収入増加、確保対策の実施について、3センターとも引き続き取り組む必要がある。
- ・奈良県地域医療構想、奈良県医療費適正化計画との整合性のもと、収益の確保と費用構造改革の徹底によって、一層の経営改善を図り、持続可能な経営基盤の確立を図ることが必要。

#### 県評価・コメント

A

各センターで経費削減、抑制対策や収入増加、確保対策に取り組んでいるが、引き続き、一層の収益確保と費用抑制を進め、経営改善を図る必要がある。

【県立病院機構 第2期中期目標】

…目標を上回る取組の項目

…計画どおり進捗した項目

…目標を下回り、今後の改善が必要な項目

分野	大項目	中項目	目標	目標値 (R5年度)	令和元年度目標 (年度計画)	番号	令和元年度 実績値	自己 評価	県 評価	県からのコメント						
診療	1) 患者にとって最適な医療の提供	1 患者の視点に立った医療サービスの提供	○患者調査で「満足」と回答した割合(入院・外来別)の向上  ・患者サービス向上委員会で検討し改善した件数の増加  ・患者調査で診療待ち時間について「不満」と回答した割合の改善(低下)	入院・外来とも90%以上	入院 96% 外来 81%	1	入院 92.9%	S	A	・患者満足度調査「病院に満足しているか」では、入院・外来とも目標に届かなかったが高い水準を維持。 ・診療待ち時間短縮に向け、予約患者の事前データチェックなどに取り組み、待ち時間短縮が進んだ。						
				前年度より増加	総合 60件 西和 50件	2	外来 79.1%									
				前年度より低下	総合 20% 西和 16% リハ 12%	3	総合 120件									
						4	西和 103件									
						5	総合 16.0%									
						6	西和 17.8%									
						7	リハ 1.4%									
		2 地域の医療拠点としての機能の充実	① 断らない救急医療の充実	○救急搬送受入率100%達成を目指す【総合・西和】  ・北和・西和地域における重症以上の傷病患者搬送事案において、医療機関の受入の照会を行った回数4回以上の割合の改善(低下)【総合・西和】	100%達成を目指す	総合 96% 西和 73%	8	総合 93.6%	S	S	・救急搬送患者の積極的な受入により、重症以上の照会回数4回以上が、「5年前の8.6%」→「1.9%」と大幅な改善が図られ救急医療体制の充実に大きく貢献した。					
					2.7%	3%	9	西和 76.5%								
							10	1.9%								
					② 質の高いがん医療の提供	○院内がん治療件数の増加(悪性新生物手術・外来化学療法【総合・西和】)放射線治療【総合】  悪性新生物手術  外来化学療法  放射線治療  ・がん医療における高難度(E・D難度)手術の実施件数の増加【総合】	1,600件	総合 1,000件 西和 450件				11	総合 1169件	A	A	・院内がん治療件数はすべての年度目標を達成した。 ・今後は、緩和ケアへの対応強化や総合と西和のさらなる連携が期待される。
							3,800件	総合 3,800件 西和 600件				12	西和 470件			
							8,000件	総合 8,500件				13	総合 6,056件			
							前年度より増加	総合 700件				14	西和 652件			
												15	総合 13,212件			
												16	総合 919件			
					③ 周産期医療の充実	○ハイリスク妊婦の県内搬送率100%達成を目指す【総合】  ・ハイリスク分娩件数の増加【総合】  ○新生児の県内搬送率100%達成を目指す【総合】	100%達成を目指す	100%を目指す				17	99.6%	A	A	・ハイリスク妊婦、新生児の県内搬送率はほぼ100%を達成し、地域の医療拠点としての機能を発揮した。 ・西和の分娩を総合で対応する体制構築など新たな連携に取り組んだ。
		前年度より増加	総合 140件	18			117件									
		100%達成を目指す	100%を目指す	19			99.2%									
		④ 小児医療の充実	○小児患者の救急搬送受入率100%達成を目指す【総合・西和】  ・小児救急受入件数の増加【総合・西和】	100%達成を目指す	総合 95% 西和 100%	20	総合 91.6% 西和 89.7%	A	A	・小児患者の救急搬送受入率、受入件数は目標に届かなかったが、高水準を維持した。 ・総合においてERで看護部勉強会を実施、西和で地域の診療所の診察時間に合わせた受入を実施するなど、小児救急の受入体制充実に図った。						
				前年度より増加	総合 1,450件 西和 1,400件	21	総合 1,337件									
						22	西和 848件									
						23	総合 213件									
						24	西和 72件									
		⑤ 糖尿病医療の充実	○糖尿病医療に係る非専門医からの紹介件数の増加【総合・西和】  ・糖尿病専門医の確保【総合・西和】  ・糖尿病専門医による治療患者数の増加【総合・西和】	前年度より増加	総合 230件 西和 60件	25	総合 1人 西和 1人	A	A	・総合では、専門医による治療患者数が目標を大幅に上回った。また、7月に糖尿病学会教育施設の認定取得、西和でも非常勤の専門医を確保するなど糖尿病医療の充実に取り組んだ。						
				総合 2人以上 西和 1人以上	総合 2人 西和 1人	26	総合 5,556人									
				前年度より増加	総合 1,650人	27										
						28										
		⑥ 精神医療の充実	○精神・身体合併症患者受入件数の増加【総合】  ・精神科救急受入件数の増加【総合】	30件/年以上	総合 80件	29	総合 57件	A	A	・精神・身体合併症患者を受け入れ、北和地域の拠点としての役割を果たした。 ・精神科救急の輪番体制参画への取り組みをさらに進める必要がある。						
				16人/年以上	総合 12件	30	総合 13件									
		⑦ 感染症医療の充実	○感染症患者入院要請応需率100%の維持【総合】  ・緊急対応を常時想定した体制の強化【総合】	100%	総合 100%	31	総合 100%	S	S	・新型コロナウイルス感染症対策のマニュアルを作成するとともに、県内の重点医療機関として陽性患者の治療に貢献した。 ・感染症患者入院要請応需率100%実現。						
				定性的目標	体制の強化	32	感染症患者対応フローチャートの作成									
		3 リハビリテーション機能の充実	○急性期リハビリテーション実施件数の増加【総合・西和】  ○機能的自立度評価法による得点の上昇(入院前後におけるADLの改善)【リハ】  ・在宅復帰率の高水準の維持・向上【総合・西和・リハ】	前年度より増加	総合 65,000件 西和 58,000件	33	総合 70,282件	A	A	・総合では、土日祝日、西和では土曜日のリハビリ提供により実施件数の増加を図った。 ・高水準を維持しているが、在宅復帰率が3センターとも微減しており、さらなる取り組みが必要。						
				前年度より上昇	リハ 26点	34	西和 56,183件									
				前年度より向上	総合 95% 西和 94% リハ 89%	35	リハ 25点									
						36	総合 94.7%									
						37	西和 91.6%									
						38	リハ 86.7%									



【県立病院機構 第2期中期目標】

...目標を上回る取組の項目

...計画どおり進捗した項目

...目標を下回り、今後の改善が必要な項目

分野	大項目	中項目	目標	目標値 (R5年度)	令和元年度目標 (年度計画)	番号	令和元年度 実績値	自己 評価	県 評価	県からのコメント
診療	1) 患者にとって最適な医療の提供	4 医療安全の確保・院内感染の防止	○患者調査で「安心して医療を受けられた」と回答した割合(入院・外来別)の向上 ・医療安全確保のための体制強化と職員の意識向上 ・院内感染防止のための体制強化と職員の意識向上 ・入院患者のMRSA感染率の低下	入院・外来とも 90%以上	入院 94% 外来 84%	39	入院 94.0%	A	A	・6月にはしかやVREが発生し、現在、新型コロナウイルス感染症への対応を行っており、体制強化に向け引き続き各取り組みを進める必要がある。
				定性的目標	体制強化と意識向上	40	外来 78.7%			
				定性的目標	体制強化と意識向上	41	体制強化と意識向上			
				前年度より低下	総合 0.22% 西和 0.19% リハ 0.30%	42	体制強化と意識向上			
						43	総合 0.25%			
						44	西和 0.17%			
						45	リハ 0.00%			
		5 西和医療センターのあり方の検討	○県と病院機構が連携して西和医療センターのあり方を検討 ・西和医療センターと総合・リハ・他の医療機関との連携・役割分担の推進	定性的目標	県と連携した「あり方検討委員会」を設置し担うべき医療機能の検討	46	県と連携した「あり方検討委員会」を設置し担うべき医療機能を検討	A	A	・県と連携し「あり方検討委員会」を設置し、担うべき医療機能の検討を実施した。引き続き、将来、西和医療センターが担うべき医療機能等の詳細な検討を行う必要がある。
				定性的目標	連携に向けた検討	47	連携に向けた検討			
地域貢献	2) 地域の医療力向上への貢献	1 地域の医療機関との役割分担と連携強化	○患者の紹介率(入院・外来別)の向上 ・紹介患者数(入院・外来別)の増加 ○患者の逆紹介率(入院・外来別)の向上 ・逆紹介患者数(入院・外来別)の増加 ・平均在院日数(一般病床)の短縮【総合・西和】 ・地域医療連携のための会議の参加回数の増加	前年度より増加	総合 50% 西和 100%	48	総合 46.5%	A	A	・各センターとも、地域の医療機関への訪問や意見交換会を開催し、連携体制構築に向け取り組んだ。 ・総合と西和は地域医療支援病院としての役割を踏まえ、さらなる連携体制の構築に向け、取り組む必要がある。
				前年度より増加	総合 75% 西和 70%	49	西和 90.0%			
				前年度より増加	総合 650人 西和 750人	50	総合 78.4%			
				前年度より増加	総合 12,000人 西和 6,600人	51	西和 74.7%			
				前年度より増加	総合 260% 西和 325%	52	総合 513人			
				前年度より増加	総合 85% 西和 90%	53	西和 783人			
				前年度より増加	総合 3,400人 西和 2,400人	54	総合 12,789人			
				前年度より増加	総合 14,000人 西和 8,300人	55	西和 6,689人			
				前年度より短縮	総合 11.5日 西和 12.5日	56	総合 285%			
				前年度より増加	総合 24回 西和 10回 リハ 12回	57	西和 245.6%			
						58	総合 81.8%			
						59	西和 75.2%			
				60	総合 3,142人					
				61	西和 2,137人					
				62	総合 13,355人					
				63	西和 6,736人					
				64	総合 11.6日					
				65	西和 12.9日					
				66	総合 21回					
				67	西和 22回					
				68	リハ 8回					
		2 地域の医療機能の向上のための支援	○教育研修センターにおける地域の医療従事者の資質向上のための取組の充実【研修セ】 ○地域の医療従事者に対する研修の受講者数の増加【総合・西和・リハ】 ○看護専門学校卒業生の県内就業率100%達成を目指す【看専】 ・医療従事者の短期・長期研修の受入数の増加 ・地域の医療従事者に対する研修の実施回数の増加	定性的目標	研修セ 実施	69	実施	A	A	・地域の医療従事者に対する研修に多くの受講者が受講した。引き続き、研修の充実を図り、参加者数の増加を目指す必要がある。 ・看護専門学校卒業生の県内就業率が高水準を維持(92.4%)し、引き続きより細やかな就職支援を実施し、県内医療機関への就職を促進する必要がある。
		前年度より増加	総合 450人 西和 330人 リハ 60人	70	総合 449件					
		100%達成を目指す	90.0%	71	西和 331人					
		前年度より増加	西和 53人	72	リハ 113人					
		前年度より増加	総合 42回	73	92.4%					
		前年度より増加	西和 21回	74	西和 5人					
			リハ 3回	75	総合 32回					
			西和 2回	76	西和 22回					
		3 災害医療体制の強化	○関係機関や地域と連携した災害医療訓練の実施 ・DMATチーム数の増加【総合・西和】	9回	総合 3回 西和 3回 リハ 2回	77	リハ 14回	A	A	・各センターにおいて、関係機関や地域と連携した災害医療訓練を複数回実施した。 ・引き続き、BCPの策定(西和、リハ)やBCPに基づいた訓練を企画していく必要がある。
		6チーム以上	総合 4チーム 西和 2チーム	78	総合 2回					
		3チーム以上		79	西和 2回					
				80	リハ 2回					
				81	総合 3チーム					
				82	西和 2チーム					



【県立病院機構 第2期中期目標】

...目標を上回る取組の項目

...計画どおり進捗した項目

...目標を下回り、今後の改善が必要な項目

分野	大項目	中項目	目標	目標値 (R5年度)	令和元年度目標 (年度計画)	番号	令和元年度 実績値	自己 評価	県 評価	県からのコメント
地域貢献	2) 地域の医療力向上への貢献	4 県民への医療・健康情報等の提供	○公開講座受講者調査で「有意義だった」と回答した割合の向上【総合・西和・リハ】	90%以上	総合 現状課題把握 西和 90% リハ 90%	83 84 85	総合 81% 西和 90.8% リハ 86.1%	A	A	・今後は、広報戦略を担う人材育成や、法人として効果的な広報手法を検討することが望まれる。
			・県民向け公開講座の受講者数の増加【総合・西和・リハ】	前年度より増加	総合 750人 西和 350人 リハ 190人	86 87 88	総合 260人 西和 511人 リハ 133人			
			・経営状況や臨床指標、各病院の医療機能などの「見える化」の推進	定性的目標	積極的な広報	89	積極的な広報			
人材確保・育成	3) 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保・育成	1 最高レベルの医の心をもった人材の確保・育成	○患者調査で「患者の気持ちを理解しよう」と回答した割合(入院・外来別)100%達成を目指す	100%達成を目指す	入院 93% 外来 84%	90 91	入院94.0% 外来78.8%	A	A	・職員のホスピタリティマインド及びプロフェッショナリズムの教育、研修を強化した結果、ホスピタリティ研修に目標を上回る人数が参加。アンケートでも目標を上回り、引き続き工夫して実施していく必要がある。
			・ホスピタリティ研修の参加人数の増加	前年度より増加	440名	92	514名			
			・ホスピタリティ研修後受講者アンケートで「自身のホスピタリティ向上に役立った」と回答した割合の向上	前年度より向上	50%	93	72%			
		2 最高レベルの医の技をもった人材の確保・育成	○専門医数の増加	150人	専門医 275人	94	専門医 319人	A	A	・引き続き研修医、専攻医、認定看護師等の人材確保、育成を進めるとともに、教育研修センターの一層の機能の充実、看護専門学校の教育内容や体制の充実及び積極的な広報活動による魅力ある学校づくりが必要。
			○専門(又は認定)看護師数の増加	前年度より増加	専門(又は認定)看護師 28人	95	30人			
			・初期臨床研修医マッチ率の向上	90%以上	100%	96	100.0%			
	・専攻医数の維持	30人	39人	97	37人					
	○看護専門学校現役卒業生の看護師国家試験合格率100%の維持	100%	100%	98	98.7%					
	・特定行為研修受講者数の増加	5人以上	11人	99	7人					
	3 働き方改革の推進	○職員調査で「仕事にやりがいを感じている」と回答した割合の向上	90%以上	全体 50%	100	55.0%	A	A	・ワークライフバランス推進中央委員会を開催するとともにハラスメント対策ハンドブックの改訂及びニュースレターの発行等により職場の健康確保対策を推進した。 ・11月の職員調査の「仕事にやりがいを感じている」「ワークライフバランスが図れている」や「年次有給休暇取得日数」「超過勤務の縮減」は、ほぼ目標値と同じ実績となっているが、現在の新型コロナウイルス感染症対応において、職員への負担が増していると思われる。職員の健康確保対策をはじめとする職場環境の状況把握や勤務環境の整備、各種取り組みの推進をお願いしたい。	
		・職員調査で「ワークライフバランスが図れている」と回答した割合の向上	90%以上	45%	101	45.8%				
		・男性の育児休業取得率の向上	13%以上	1人以上	102	0人				
・年次有給休暇取得日数の増加		10日以上	総合 6日 西和 7日 リハ 10日	103 104 105	総合 8.4日 西和 7.4日 リハ 7.3日					
・復職支援実習の参加人数の増加		10人以上	2人	106	0人					
・看護師在職率の維持		離職率 9.1%以下	10%	107	7.62%					
・超過勤務の縮減	前年度より縮減	医師 月25時間 看護師 月10時間 その他医療従事者 月13時間	108 109 110	医師 月30.0時間 看護師 月11.4時間 その他の医療従事者 月11.5時間						
○障害者雇用率の向上	2.7%以上	2.50%	事務 月19時間	111 112	事務 月20.5時間 2.51%					

【県立病院機構 第2期中期目標】

...目標を上回る取組の項目

...計画どおり進捗した項目

...目標を下回り、今後の改善が必要な項目

分野	大項目	中項目	目標	目標値 (R5年度)	令和元年度目標 (年度計画)	番号	令和元年度 実績値	自己 評価	県 評価	県からのコメント
法人経営	4) 自立した法人経営	1 権限と責任を明確にしたガバナンス体制の確立	○第2期中期目標に掲げる目標の達成  ・職員の中期目標・中期計画の理解度100%を目指す	定性的目標	目標達成に向けた取組の継続的实施	113	目標達成に向けた各種取組の実施	A	A	・約4割の職員が、中期目標・中期計画の理解が進んでおらず、職員研修やニュースレターの発行、各センター幹部による周知など、職員全員に効率的、効果的に法人の理念や中期目標・中期計画を周知徹底される取り組みの検討や実施を引き続き行う必要がある。
				100%	60%	114	59.1%			
		2 持続可能な経営基盤の確立  ① 財務内容の改善	○経常収支比率の改善(上昇)  ・繰越欠損金の縮減  ・医業収支比率の改善(上昇)〔医業収益/医業費用〕	前年度より上昇	93%	115	93.6%	A	A	・各センターで、収益の増加、費用の削減に取り組んでいるが、法人全体の経常収支比率や西和、リハの医業収支比率の項目において、目標を達成できなかった。一層の収益確保と費用抑制を図って経営改善に取り組む必要がある。
				H29年度末額より縮減	142.3億円	116	145.4億円			
				前年度より上昇	総合 90%	117	総合 92.0%			
					西和 100%	118	西和 96.0%			
					リハ 99%	119	リハ 95.0%			
		② 収益の確保と費用構造改革の徹底	○医業収益に対する材料費比率の改善(低下)  ・医業収益に対する職員給与費比率の改善(低下)〔職員給与費/医業収益〕  ・医業収益に対する経費比率の改善(低下)  ・後発医薬品の使用割合の高水準の維持  ・地域の医療機関との連携を図りつつ、経営状況に応じて計画的に稼働病床を増加【総合】	前年度より低下	総合 28.2%	120	総合 31.1%	A	A	・各センターで、収益の向上、費用の削減に取り組んでいるが、総合では材料比率、西和とリハでは、職員給与比率と経費比率が目標を達成できなかった。より一層の収益の確保と費用構造改革の徹底によって、一層の経営改善を図り、持続可能な経営基盤の確立を図ることが必要。
					西和 26.3%	121	西和 25.6%			
					リハ 11.5%	122	リハ 10.4%			
					総合 54.3%	123	総合 52.1%			
					西和 54.2%	124	西和 59.1%			
					リハ 73.9%	125	リハ 78.4%			
	総合 19.3%			126	総合 17.2%					
	西和 18.0%			127	西和 18.7%					
	リハ 16.7%	128	リハ 18.8%							
3 経営感覚・改革意欲に富んだ人材の確保・育成	○事務部門におけるプロパー職員の割合の向上  ・経営改善・業務改善に向けた職員提案件数の増加	前年度より向上	60%	132	58%	A	A	・持続可能な法人経営を目指して、経営感覚と改革意欲に富んだ人材を確保、育成することが必要。		
		前年度より増加	1件以上	133	5件					